

試合名 ××大会 1回戦	A	}	-	}	B 審判
日時 2005 年 4 月 1 日 9 : 00					副審
場所 〇〇体育館					スコアラー
					Aスコアラー
					タイマー
					24秒タイマー

チームA		Time Out										RUNNING SCORE									
〇〇		7 =																			
氏名	No.	Fouls				Shots			得点	Team Fouls	A		B		A		B				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1	2	3			4	5	2P	3P	FT	残	No.	点	点	No.	残
AAA	4	×	×			P															
BBB	5	×	×																		
CCC	6																				
DDD	7	×	×																		
EEE	8																				
FFF	9																				
GGG	10	×	×			P ₂	P	P													
HHH	11	×	×			P															
III	12																				
JJJ	13																				
KKK	14	×	×			P ₂															
LLL	15																				
コーチ	MMM																				
Aコーチ																					
チームB		Time Out										Team									
××		= 3																			

2スローを与えたファウル

残り1分で5ファウルになった。

1Qにはタイムをとらなかった

3P

フリースロー

バスケットカウントワンスロー

SAMPLE

ペンの色：試合前にわかっていること、試合後に書くことは黒。
1, 3Qは赤、2, 4Qと延長は黒。

試合後、集計したり、未使用欄(ファウル、タイムアウト、得点)に線を引いたりはあるが、後で埋めるのは大変な事項

最低限必要記載事項(試合終わってから書こうにも書けないこと)

1. 試合前

ほかとはともかく試合開始時間は後でわからなくなりがちなので書いておくとよい。
2. 各Qの初め

メンバーをチェックして○をつける。
途中で交代して出た人は×をつける。
3. ゲーム中
 - 3-1. シュート

残り時間(分)と入れた人の番号を書き、点に×。
3PはNo.に○。
フリースローは得点を●。二本入ったらスラーでつなぐ。
バスケットカウントワンスローなら、シュートとスラーでつなぐ
 - 3-2. ファウル

個人ファウル欄にパーソナルファウル=Pを書く。
フリースロー付きの場合、右下にスロー数を書く。P₂など。
チームファウル欄でチームの総計をカウント。
5回目になった時、その残り分を記入。
 - 3-3. タイムアウト

取った時の残り時間(分)を書く。
4. Qが終わったら

ランニングスコア欄：そのQの最後の得点に○をし、その下に線を引く。
ファウル欄：そのQのファウルを□で囲う。

P以外は、
テクニカル=T
ディスクォリファying=D
アンスポーツマンライク=U

これやらないと後では絶対わかりません。

公式だと×で良かったはず。